

2020年3月18日  
NHK広報局

### 3月会長定例記者会見

Q. 新型コロナウイルスへの対応について

A. (前田会長) 新型コロナウイルスへの対応について説明いたします。まずは、国の内外を問わず、亡くなられた方に哀悼の意を表し、感染された方、治療を受けられている方の一刻も早い回復をお祈り申し上げます。

NHKは公共放送・公共メディアとして「命と暮らしを守る」報道の使命を果たすため、全国と各地域で、テレビ・ラジオ・インターネットと、あらゆる伝送路を使って、新型コロナウイルスに関する情報発信を強化しています。

放送では、総合テレビを中心に、定時や特設ニュースだけでなく、「NHKスペシャル」など、番組でも多角的にお伝えしているほか、感染を予防する方法などを1分番組で発信し、今月16日には、視聴者の皆さまの質問にお答えする特別番組も放送しました。インターネットでも、疑問や不安に応える特設サイトを開設し、きめ細かく情報を掲載しているほか、「NHKプラス」の見逃し番組配信では、最新情報を扱った番組や子どもたちが自宅で学べる番組などを集めたリストも設けています。さらに、休校中の子どもたちに向けて、Eテレを中心に特別編成を行っているほか、今月24日には総合テレビとラジオ第1で、ネットメディアや各地の新聞社と連携し、卒業式が中止や縮小された、児童・生徒に向けた緊急の特別番組を予定しています。地域放送局でも取り組みを強化しており、北海道では、NHKと民放テレビ局が協力して、卒業生にエールを送る緊急企画を実施しています。

放送やインターネットでの発信以外にも、感染拡大の防止に取り組んでいます。今月末まで、NHKの施設で行うイベントは中止し、「NHKのど自慢」など全国各地で開催予定だった公開番組も、中止か、お客様の観覧を見送っています。楽しみにされていた方々には大変申し訳ありませんが、ご理解をいただきたいと思っております。

営業現場では、視聴者の皆さまと接する際にマスクの着用を徹底するよう指導しています。

局内での感染防止については、報道機関としての機能を維持していくため、在宅勤務やウェブ会議の積極活用を進めています。さらに、放送センター勤務者には入館時にサーモグラフィーによる体温のチェックを始めました。

今後も、感染の拡大防止に努めるとともに、視聴者の皆さまに正確に必要な情報を届け、公共メディアの役割をしっかりと果たしてまいります。

(以上)